

癌化学療法輸液約束処方 ベーチェット病による難治性ぶどう膜炎

レジメン名 眼1 インフリキシマブ

薬品名 (商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間
レミケード	インフリキシマブ	IFX	5 mg/kg	div	初回投与後 2週目、6週目 以後8週ごと	120分

☆ (オプション) レスタミン30mg、カロナール600mg内服 (レミケード投与1時間前に)

- ① NS 50ml + ソルコーテフ100~300mg / 5分
- ② Ns 250ml + インフリキシマブ mg / 120分 ☆フィルター使用
注射用水 20ml (レミケード溶解用) 2V
- ③ Ns 50ml / 5分

< 調整方法 >

1Vにつき10mlの注射用水にて溶解(10mg/ml)

< 備考 >

- ① 0.2 μ mのインラインフィルターを使用
- ② インフュージョンリアクション既往症例 (オプション)
 - ・ レスタミン30mg+カロナール600mgをレミケード投与1時間前に投与
 - ・ ソルコーテフ100~300mgをレミケード投与直前に投与
- ③ インフュージョンリアクションがなければソルコーテフ省略可
- ④ 8週ごとの投与となった後、症状に応じ6週ごとの投与もありうる
- ⑤ 上記疾患に対してはレミケード (先発品) のみ適応あり (2018.4.16現在)

2018.4.16作成